



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 見上一幸

仙台市青葉区国分町三丁目1-1
(仙台第一生命ビル 5階)

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

「平和祈念七夕プロジェクト」

青年部が高校生とコラボレーション 仙台七夕祭りに「平和祈念七夕飾り」で参加

参加したのは、仙台育英学園高等学校秀光コース国際バカロレア履修生、宮城県多賀城高等学校有志の高校生たち。東北大学留学生や会員有志も加わった、6月末から8月8日まで1か月半の「平和祈念七夕プロジェクト」をご紹介します。



制作に全面的にご協力いただいたのは、七夕飾り専門店のマルイチ壹岐様。制作日の土曜日、毎週足を運んで、一から指導をしてくださいました。

平和へのメッセージを込めた七夕飾りは、高校生たちが意見を出し合いデザインを決定しました。



高校生たちの考えを後押し、全面協力を約束して下さった壹岐様と



飾りのデザインを話し合う青年部と高校生



制作は青年部、高校生、留学生、大人会員、見上会長も駆けつけて



3種類の七夕飾り

左 地球全体に希望の虹がかかるイメージを7色の吹き流しで表現、ウクライナを象徴する花ひまわりをあしらいました。

中 ユネスコマークをくす玉に、オリーブの葉と折り鶴をあしらひ平和をイメージしました。

右 キリバス共和国国旗をイメージ、赤と黄で赤道直下の太陽を、折り鶴で軍艦鳥を、青と白の吹き流しで太平洋の波を表現しました。

8月6、7、8日の3日間、仙台駅東口の松栄不動産本社前のテントで、「平和祈念七夕飾り」の展示と、市民の皆様と「夢や願いを短冊に書いていただく交流」活動を行いました。



市民の皆さんとの交流の様子

マスコミでも紹介

8月7日付け 河北新報朝刊

取材を受ける高校生



制作の過程で青年部や高校生たちは、平和について考え、イベントを企画するという貴重な体験をし、高校間や異年齢交流で様々な気づきがありました。また、七夕飾りの展示期間中は市民や観光客との交流を深めることが出来ました。

制作から展示まで、仙台駅東口商工事業協同組合様の全面的なご支援・ご協力があったことに感謝いたします。(青年部代表 仲海渡、青年部担当 菊地恵美子・内藤恵子 記)

第58回 国際理解教育に関する弁論大会

令和5年9月12日、聖和学園高等学校薬師堂キャンパスにおいて、「第58回 国際理解教育に関する弁論大会」が行われました。

本大会において、第一位の宮城県知事賞を受賞した高校生は全国中央大会に出場が決まる宮城県予選も兼ねています。

今大会においては、宮城県内の各高校より13名の代表者が参加し、主にSDGs、および世界平和と安全について、生徒が自らの考えを発表しました。



会場の様子

午前7名、午後6名の高校生の皆さんは、全員が夏休み中しっかり練り上げた考えを熱く述べ、その結果、第一位の宮城県知事賞に、ウクライナへの想いを語った白石高校の遠藤想太さんの「imagine~いつか、きっと、世界はひとつに」が選ばれ全国大会に。

また、仙台ユネスコ協会会長賞に、生物の絶滅危機について高い説得力のあった富谷高校の千葉琴乃さんの「同じ空の下で」が選ばれました。

2名とも原稿を全く見ずに、丁寧に力強く想いを述べ、審査員はじめ参加された方々から感動したとの声が多く出ていました。

(企画・広報委員会/理事 畠山明 記)



会長賞受賞 富谷高校 千葉琴乃さん

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年(昭和22年)7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

2023年度「民間ユネスコ運動の日」記念行事

毎年、開催しております「民間ユネスコ運動の日」の記念行事を7月9日(日)午後2時から「仙台福祉プラザ1階プラザホール」にて50名の参加のもと開催しました。

初めに青年部代表・仲海渡さんの音頭に合わせて「ユネスコ会員要綱」を唱和し、その後全員で「ユネスコの歌」を斉唱しました。次いで、見上会長の挨拶の後、書き損じはがきを寄付いただきました1団体そして4名の個人に感謝状贈呈を行いました。

当日は沖村直樹様と大澤光雄様にご参加をいただきご挨拶をいただきました。



沖村様・見上会長・大澤様



(株)SKホールディングス代表取締役齋藤孝志さん

その後の記念講演は、(株)SKホールディングス代表取締役齋藤孝志さんより、「地域社会へ[関わる]ことから[動かす]経営を目指して」と題して、今までの経験を生かした事例を紹介しながらお話しをいただき、参加者からは資源回収が地域の子供たちのために還元されている活動が素晴らしいと多くの感想をいただきました。

最後に、青年部からは七夕飾りのする為の「平和七夕プロジェクト」を立上げ、8月6,7,8日の七夕期間中に飾り付けすることの報告がありました。今後も引き続き当協会としても青年部の活動を応援してまいります。



青年部代表 仲海渡さんの活動報告

(企画・広報委員会委員長/副会長 松坂宏造 記)



記念講演の様子

ユネスコカレッジ講座 (潮風トレイルプロジェクト)



10月20日(金)、海の潮風トレイル(野々島・寒沢島)と東松島 観音寺 震災復興伝承館を回る旅は、秋晴れのもと行われました。参加人数45名(うち非会員26名)海の潮風トレイル探訪という標題のもと、丸文汽船佐藤会長の協力を頂戴してチャーター船で通常は訪問しにくい野々島散策と寒沢島の歴史を学びました。佐藤会長のユーモアある解説を通して、参加者の皆様はその浦戸の歴史を体感しました。後半は縄文の村資料館でさらに古代人の当時の生活様式を学びました。その後、浦戸に絡み230年前江戸への米搬送中に漂流した若宮丸の乗組員多十郎の墓を訪問し、あいにくご

住職不在のためお話を伺えませんでした。当時の世界における日本の在り様等を学習しました。防災の観点から貞観の津波(西暦869年)の碑を見学した後、3.11の東松島市震災復興伝承館にて約1時間にわたる被災状況説明を受け日々の防災の備えの必要性などについて感慨を新たにしました。今回のユネスコカレッジは船とバスという組み合わせの中、盛り沢山の企画でした。

参加者45名もの皆様の良識あるご協力の下、予定どおり17時に到着。全員無事解散となりました。

(佐藤芳郎 記)

ユネスコ会員企業紹介

～SDGsの取り組みについて～

(株)菓匠三全

私どもは、仙台銘菓「萩の月」をはじめとする約120種類に及ぶ和菓子の製造・販売しております。今年で創業76年を迎え、以来半世紀にわたり、“お客さまにご満足いただける菓子づくり”をめざして、社業に励んで参りました。

当社の経営理念「菓匠三全の誓い」に基づく、

- ① 地域の自然を守る
- ② 郷土の歴史・文化を尊ぶ
- ③ 堅実的な経営

に重点を置き、持続可能な社会のために今私たちができることに取り組んでいます。



仙台銘菓「萩の月」

- ① 地域の自然を守る…手提げ袋やプラスチック製品の使用削減活動、バイオマス等の自然に優しい素材への切り替えに取り組んでおります。また自然保護団体「more Trees」などへの寄付により、桜並木や森林の環境の保全を支援しています。
- ② 郷土の歴史・文化をと尊ぶ…地域団体のイベントや大会への協賛、菓匠三全杯少年野球大会の開催

など地域との繋がりを大切にしています。また仙台市が運営する「仙台子ども体験プラザ」事業に寄与し、当社の商品を通して子どもたちの社会勉強のお手伝いに取り組んでいます。

- ③ 堅実的な経営…社外とのパートナーシップ構築として、異業種とのコラボレーションや6次産業化、地産地消の取り組みを強化しています。フードロス削減にも取り組んでいます。
- ④ 企業活動を通して「ほほえみづくり」の輪が広がる未来を描くために、今後も安心・安全で価値のある品質のお菓子をつくるとともに、地球環境の持続可能な発展を目指して活動して参ります。



広瀬通り 大町本店

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町2丁目14番18号
TEL 022-263-3000 (広瀬通り)大町本店
<https://www.sanzen.co.jp/>

(株)アール・フランセ

当社は平成13年に設立。アートを中心「生活にあったら良い商品・サービス」としてレンタルをメインに事業を展開しています。絵画とフラワーレンタルはオフィスや医療施設など約80業種、1300件でQOL環境づくりをサポート、地域密着でアナログな事業活動が少しずつ浸透しています。

創業以来、働き手の中心は女性で、現在でも役員を除く全従業員(社員・パート)は全て女性です。子育てをしながらの両立は大変ですが、女性の感性やアイデアが“仕事のチカラ”となり幾たびの困難を救う源泉となりました。

[創業] 2001年3月(平成13年)

[代表] 代表取締役 菅原 芳則

[事業所]

- ・「アートギャラリー小さな美術館」
(泉区実沢中山南/仙台ヒルズホテル内)
- ・「杜の額縁工房」フレーム製作(青葉区栗生)

[事業内容]

- ・絵画&フラワーレンタル
- ・ギャラリー運営&アートイベント企画
- ・美術品修復、アート環境の整備全般(移動&設置)
- ・フレーム全般(オーダー&修理他)

【社会貢献の取り組み】

創立3年目、身近にできることから始めよう。そんな想いからスタートしたのが当社のCSRです。23年の歩みの中で変化はありましたが、背伸びをせず、息長く実践することで社会課題の解決に向けた一助となれば幸いです。

《主な事例》

- 県立3病院への絵画の無料展示⇒「ボランティア・アート」(2003年～)
- 盲導犬協会への寄付(イベント収益の一部)
- NPO法人JETOみやぎへの寄付(イベント収益の一部)⇒「絆のアートプロジェクト他」(2011年～) 東日本大震災孤児支援
・ 在仙ホテルとの連携イベント夏・冬2回/今年13回目
- 国際NGO オペレーション・プレッシング・ジャパンへの寄付(イベント収益の一部)⇒「絆のアートプロジェクト他」(2021年～) ウクライナの子供達へ支援
・ 在仙ホテルとの連携イベント/同上



絆のプロジェクト(ホテル例)



本社ギャラリー(仙台ヒルズホテル)

〒981-3217 宮城県仙台市泉区実沢中山南25-5
仙台ヒルズホテル1F
TEL 022-303-2601 FAX 022-303-2602
<https://www.art-francais.com/>

SALON国際交流講座

ESD/SDGs委員会では、コロナ禍の期間、「ESD講座」に代えて「SALON&ZOOM講座」を実施してきました。行動制限がなくなり、各大学に留学生が戻ってきたことから、青年部主催の「留学生交流会」と「SALON&ZOOM講座」を結び、「SALON国際交流講座」を企画しました。9月16日と10月7日に実施した講座のご報告をいたします。

第1回講座「書道」講師：砂金参事

大学が夏休み中のため留学生の参加はなかったものの、青年部との久々の講座で和気藹々の雰囲気の中、姿勢を正して筆を運び真剣な姿が見られました。好みの書き味の筆を選び、好きな文字をしたため、久しぶりの「お習字の時間」を楽しみました。

第2回講座「着物着付け体験」講師：NPO法人 いろどり・みんなのみち (浅野さん、櫻井さんはユネスコ会員、他2名)

大学の留学生向けSNS等での発信の結果、留学生約40名が参加、急遽着付けの方を増員、会場も6階大会議室に移しての開催となりました。東北大学の先生方の英語での指示や、着物姿で案内に奔走した青年部のお陰で、スムーズに進めることができました。留学生の感想から、楽しかった様子を想像して下さい。

(ESD/SDGs委員会委員長/副会長 内藤恵子 記)



留学生の感想「好きな着物を選んで、素敵な写真をたくさん撮ることができて、とてもとても楽しいです。着物も美しいし、おやつも美味しい。やっぱり私は日本が一番好きです」
「今日会えたみんなに感謝します。素晴らしい一日を過ごしています。次回もこのような興味深いアクティビティに参加したいと思います」

第79回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田

9月9日(土)山梨県のふじサンホールにて、記念講演とパネルディスカッションの2本立てで行われました。大会テーマは「ユネスコを楽しもうさあ～みんなでGO!～若い力を育む 富士の国からこんにちは～」。これを受けてパネルディスカッションでは、高校生4名のパネラーが「ユネスコの今と未来 私たちはこう考える」をテーマにお話しました。その中で、ユネスコ憲章(前文)の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」には何が必要かとの問いに高校生は、「相手の思いに気づき、認めること」と発言。私たち大人も相手を認め、相手の気持ちに寄り添う行動を忘れないこと、そして人との関わり大切さを再認識しました。(事務局長 針生 真由美 記)



東北ブロック・ユネスコ活動研究会 秋田大会

10月14日(土)にホテルメトロポリタン秋田で開催された2023年度東北ブロック・ユネスコ活動研究会に、会長・副会長ら総勢11名で参加してきました。

ユネスコ無形文化遺産「港ばやし」の演奏で幕を開けた本年度のテーマは、『地域に根ざして「平和の心」を育む』です。10年以上シリア難民取材している小松由佳氏の基調講演は現在のウクライナや中東情勢と重なり合い、平和の維持や共生の難しさを改めて思い知らされました。

パネスディスカッションは、3つの協会から平和の心を育むための活動の紹介と討議がなされました。その中でユネスコ憲章(前文)に示されている「心に平和のとりでをつくりたい」という心のとりでとはどんな意味なのだろうと考えた時に、「相手の気持ちを認め、優しい心を持って接することが心のとりでの意味を持つこと」という感想を持ちました。

改めて一人一人が平和を願う行動するあかりを灯し続ける大切さを心に刻む機会となりました。また、3つの協会の発表では当協会副会長内藤恵子が「キリバス民間ユネスコ協会設立プロジェクト」として設立の経緯とSDGsの取組について発表致しました。

(事務局長 針生 真由美 記)



これからの行事予定

- 11月未定 第1回SALON&ZOOM講座
- 12/ 2(土) 第2回SALON&ZOOM講座
- 12/15(金) ESD地域研究会「食文化教育フォーラムin庄内」
- 12/25(月) クリスマス・コンサート
- 2024年1/16(火)～21(日) 第26回子ども絵画展
- 2024年2/10(土) 第3回SALON国際交流講座
- 2024年2/17(土) 法人・企業対象「ESD・SDGs研修会」

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	81
個人会員	131
青年部会員	12
合計	224

(10月末現在)

【編集委員】

松坂 宏造 小泉知加子
畠山 明 岩山 浩一
佐藤 皇季 千葉 雅保

【編集後記】

ユネスコ会報473号をお届けします。今年の春頃から国際交流も活発になって参りました。仙台ユネスコの会でも青年部が高校生とコラボして仙台七夕まつりに「平和祈念七夕飾り」で参加したり、青年部主催のSALON国際交流講座を企画したりと。仙台ユネスコ協会は、身近なことから世界各国に向けて活動しています。お仲間に加わって、いっしょに活動しませんか。

仙台ユネスコ会報編集長 小泉知加子